

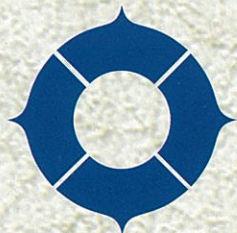
提携ニュース2001

豊中・サンマテオ 姉妹都市

Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo



Toyonaka City



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

San Mateo City



<http://www.ci.sanmateo.ca.us/>

THE 29TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



喜びにあふれる入賞者の皆さんと三河会長、審査員の皆さん

賞	氏名	学校名
豊中市長賞	畑井梨沙子さん	梅花高等学校
サンマテオ市長賞	阪下 清乃さん	豊中高等学校
優 秀 賞	荒井 恵さん	北野高等学校
優 秀 賞	金澤 智子さん	千里国際学園高等部
優 秀 賞	渡辺貴規子さん	神戸女学院高等学部
審査員特別賞	柿本 由維さん	桜塚高等学校

2001年1月27日、とよなか国際交流センターのイベントホールで、当協会主催の第29回高校生英語弁論大会が開催されました。今年は8校から20名が参加され、緊張した中にも和やかな雰囲気ですピーチが繰り広げられました。

テーマも将来の夢やクラブ活動のような身近なものから、社会問題を扱ったものまで、どのテーマも内容が興味深く、会場の皆さんも熱心に聞き入っておられました。

豊中市長賞の畑井梨沙子さんは小学校時代に帰国子女として日本に帰国して遭遇したさまざまな経験から、「梨沙ちゃんはみんなと違うから・・・」と題して、日本がもっと一人ひとりの違いを認め、尊敬し合う社会であってほしいことをアピールしました。サンマテオ市長賞の阪下清乃さんは「平和のために泣こう!」と題して、平和が当たり前になった日本において、改めて平和の意味を考え直させてくれるような内容を語りました。

Prize Winner



畑井 梨沙子さん



阪下 清乃さん



荒井 恵さん



金澤 智子さん



渡辺 貴規子さん



柿本 由維さん



開会の挨拶で、出場者を激励する三河会長



熱心にスピーチに聞き入る高校生の皆さん

審査員は元金蘭短期大学教授のジュディ・ガーナントさん、京都大学講師のグレッグ・コスさん、大阪女学院短期大学講師のウィリアム・クラインさん、豊中・サンマテオ姉妹都市協会理事の川合隆子さんの4人をお願いしました。最近、高等学校でもネイティブの教師を迎えて会話力を重視するなど、英語教育の充実が図られています。また、国際化の進展などで、自主的に英会話に励んでいる生徒も多く、年々出場者のレベルも向上しており、審査員の先生方も審査に頭を悩ましておられます。豊中市長賞の畑井さんとサンマテオ市長賞の阪下さんは、今年8月に親善使節としてサンマテオ市に派遣されます。出場された皆様方も、今後も研さんして、実社会でも英語を役に立てていくことを期待しています。

私たちのサンマテオ訪問記

昨年8月に、第28回高校生英語弁論大会の豊中市長賞の星野章さんとサンマテオ市長賞の塚田佳世子さんが親善使節としてサンマテオ市へ派遣されました。2人は1週間のホームステイで、市長への表敬訪問やヨセミテ国立公園へのミニツアーなどさまざまな忘れがたい体験をしてられました。

サンマテオ市訪問レポート

塚田 佳世子さん

夏休みのほんの一週間、本当にあっという間でしたが、私はサンマテオですばらしい時間を過ごすことができました。たくさんの方々に会い、街や山を歩き、いろいろな経験をさせていただきました。とてもここでは書ききれないほどの思い出を作ってきたので、何を報告しようか非常に迷うのですが、普通にアメリカ旅行をするだけではなかなか体験できないでしょう。市庁舎訪問とアマチュア天文学のレクチャーについてお話しようと思います。

サンマテオの市庁舎は豊中市役所のように上へ上へ伸びるビル（少し大きいですね）とは違い、また、たくさん棟があるわけでもありません。どちらかというと、大きなカルチャーセンターといった雰囲気のできる可愛らしい建物です。

4日目の朝、表敬訪問に訪れた私たちをサンディさんやクレアー・マック氏、そして市長のジャン・エプスタイン氏はとても優しく歓迎してくれ、ケーキやジュースを出してくださいました。案内されたのは市長の自宅だったのですが、10人ぐらいの人たちが集まって、まるでホームパーティのようでした。

エプスタイン氏は穏やかで気さくな方で、建物の中を案内してくださり、職員の方たちは皆明るく、私たちに笑いかけてくれたり、話をしてくれたりして、和ませてくださいました。

市庁舎の中には職員がゆっくり休憩するスペースが広くとってあって、中でも私が一番いいなと思ったのは緑がいっぱいの中庭です。疲れたときには絶対効果的だと思います。日本ではホテルなどにお客さんが楽しむスペースが増えてきていますが、会社や役所にも、働いている職員のためのオープンなつろぎの場を取り入れてみてはどうでしょうか。

さて、この表敬訪問では、一つスペシャルイベントがありました。何と、普段議会が行われているシティホールで、しかも市長席でスピーチをさせていただいたのです！そこでは市のテレビ局が議会の様子を放送しているそうで、とても立派なところでした。スピーチコンテストから半年以上経っていたのでうまく発表できるか不安でしたが、すばらしい場所で

発表でき、みんなが真剣に聞いてくれたのでうれしかったです。

天文学のレクチャーは、サンマテオに着いたその日の晩にホームステイ先の宮本さんの家で参加したものです。もちろん話の内容は全部英語だし、単語も専門的なのでなんとなくしか分からないのですが、マイクさんから宇宙ステーションの slides をたくさん見せながらの講義をしていただいで、とても興味深く聞くことができました。マイクさんとはレクチャーの後にもいろいろなことを話して、宮本さんの提案で豊中市のプラネタリウムと交流してみようという計画まで出ました。その後計画がどんな風になっているのか分からないのですが、実現して面白いプログラムが出てきたらいいなと思っています。

1週間、本当にめいっぱいという感じで次から次へとたくさんのことを経験して帰ってきましたが、すべては出会った人々のおかげでした。この旅行で出会った人たちのことは絶対に忘れません。人の輪の大切さを知り、これからも自分の周りに人の輪をどんどんつなげていきたいと思っています。豊中市役所、そして姉妹都市協会の皆さん、ビクター岩本さん、宮本さん、プレナーさん、そしてキャロラインさんをはじめ、サンマテオ市の皆さん、本当にどうもありがとうございました。

See you again, everyone!



サンマテオ市長と記念撮影

サンマテオ滞在記

星野 章さん

期待と不安に胸をふくらませた長い空の旅を終え、とうとう待ちに待ったサンマテオ市に到着しました。空港ではたくさんの方に温かく迎えていただき、大変感動しました。ホストマザーの宮本ゆみさんは庭に出て迎えてくださいました。初日に、ゆみさんが天文学協会の副会長をしておられる関係で、会長のマイク・ライアンさんがスライドで講義をしてくださいました。興味深いお話で、時差ぼけも吹っ飛んでしまいました。

ヨセミテ国立公園ではどこを見ても立ちばだかる天まで届きそうな岩壁の迫力に圧倒され、まるで巨人の国に来たような気分でした。ツアーに参加させていただき、歴史を知ることでもできました。人と自然の一体感と自然の偉大さを同時に感じさせてくれました。大学で環境問題を学んでいますが、世界中で森林伐採、焼畑農業などがたくさん行われている中、このような自然保護地区を目の当たりにできたことは非常に興味深い体験でした。今後このような経験が何らかの形で私の力になるとと思います。

ある日、ゆみさんの友だちのプレナーさん一家に映画館に連れて行っていただきました。そこでは障害者用の座席が用意されていました。日本ではそのような設備を見たことがなかったので、体の不自由な方や高齢者への配慮がしっかりと行き届いていることを感じました。

サンフランシスコツアーでは、ディマテオさん夫妻にお世話になりました。ゴールデンゲートブリッジを渡り、また、クルージングでは、映画にもよく使われるアルカトラズ島に接近することができました。映画好きな私は興奮してしまいました。

市役所訪問の日がやってきました。ジャン・エプスタイン市長をはじめ、皆さんは気さくな方々ばかりで、とても楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。また、市の会議室でスピーチをさせていただいた後の、市長による市役所ツアーでは、隅々まで詳しく説明していただき、本当に貴重な体験ができました。

サンマテオ市では、市議会の様子を生中継で放映されていると聞き、市民が行政の現状を深く知ることができるシステムが整っていることを感じました。

また、市庁舎では、吹き抜けの中庭など、ゆったりとくつろげる空間があり、市民が入り参加しやすい環境作りを大切にしているという印象を受けました。

宮本さんには、テニスコート、ゴルフ場、図書館など色々な所に連れて行っていただきました。その中でも特に驚いたのは、スタンフォード大学の広さでした。大学の入り口から校舎まで車で5分!! キャンパスでサンマテオ少年野球チームに所属するホストブラザーのよう君とキャッチボールをしました。

サンマテオ天文学協会の会長から、豊中市と天文学を通じて交流したいという親書を預かり、豊中プラネタリウム館にお届けしました。これからも、さまざまな分野で交流が広がってほしいと思います。

あっという間でしたが、たくさん素晴らしい方々と出会い、また貴重な体験ができ、とても充実した1週間でした。今後、豊中市の高校生の皆さんが、この素晴らしいチャンスを生かして、世界に羽ばたいていってほしいと思います。派遣にあたってお世話になり、また準備をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。



ホストファミリーと共に



ヨセミテの美しい風景をバックに

Report of the Visit

熟年市民 サンマテオ親善 訪問ツアー

当協会会員の市民団体「SA（シルバーアドバイザー）とよなか」を中心とした熟年市民の皆さんが、昨年11月6日から14日までの訪米ツアーのうちの5日間、サンマテオ市を親善訪問されました。

これまで、若い世代が多かった両市間の交流に、熟年市民の交流を切り開くため、サンマテオ市民の家庭にホームステイをして、友好を深めてもらいましたが、ツアーの様子を「SAとよなか」の永田得祐さんから紹介していただきます。

豊中市とサンマテオ市との姉妹都市提携は締結以来38年になります。この間、少年野球チームの相互交流と高校生英語弁論大会の成績優秀者による親善訪問は、長年の実績がありますが、市民レベルの交流はあまりなされていないのが実状でした。

そこで、熟年市民主体の親善交流を企画していたところ、姉妹都市協会設立35周年記念ということで、1999年夏に来日されたクリア・マック市長（当時）に、豊中・サンマテオ姉妹都市協会の紹介でお会いする機会が持てました。

この席で、来年（2000年）熟年市民主体の親善ツアーを企画していることを説明し、ホームステイ受け入れの可能性を打診しましたところ、市長の帰国後2000年3月に、10家庭で20名のホームステイ受け入れOKの回答をEメールにていただきました。

その後、サンマテオ市の姉妹都市協会のビクター・岩本さんを連絡の窓口とし、約20回のEメール・FAX・TELでの連絡・打ち合わせを重ねました。

この間、SAとよなかを中心として、豊中・サンマテオ姉妹都市協会や豊中市少年野球連盟他の協力を得ながら、ツアー参加メンバーの募集を行い、6月に定員20名が決定しました。

参加メンバーは、79歳の最高齢者を含めて平均年齢66歳の、まさに生き生き熟年市民ツアーチームが誕生しました。

このようにして、私たち熟年市民20人は、2000年11月6日から14日まで8泊9日のアメリカ西部4都市ツアーの中で、姉妹都市サンマテオ市を訪問し、親善交流を目的とした4泊5日のホームステイを体験しました。

以下はその体験をベースとした感想をレポートにしたものです。

◎訪問目的と成果

① アメリカの自立型社会福祉制度やボランティア活動の実情について学ぶ。

施設見学については、スケジュールの許す範囲で高齢者福祉施設を中心に見学しました。

●サンマテオ市シニアセンターでは、シニア市民の生き生きとした活動の中に、生き甲斐づくりの実情を見せていただきました。

*シニアセンター：公民館・デイサービスセンター・老人センターを総合化した施設

●有料老人ホームを3カ所、超高級クラスから中級クラスまでのホームを駆け足で見学させていただきましたが、いずれも設備面でもソフト面でも、比較的恵まれた老人

ホームと思われ、実情を正確に知るためにはもっと幅広く各種の施設を訪問見学することが必要と感じました。

② サンマテオのシニア市民と、両市の文化交流や福祉ボランティア活動について、相互の情報交換をはかり、共にエンジョイできる交流プログラムづくり。

この点については、4日間という短期間のスケジュールと言葉の壁があり、十分成果があったとはいえませんが、この私たちの初体験を、これからの両市民の新しい交流のスタートにしなければと考えています。



サンマテオ市長を囲んで

◎サンマテオ市の歓迎受け入れ状況と今後について

サンマテオ市のジャン・エプスタイン市長、クリア・マック前市長、サンディ・ウェンドランド姉妹都市協会会長はじめ、市の多くのスタッフやホストファミリーの方々に、到着日の市庁舎での歓迎に始まり、帰国日のシニアセンターでのお別れまで、市長主催の歓迎会や、姉妹都市協会主催の歓迎会など、数々の心温かいもてなしを受け、メンバー全員感謝感激の4日間でした。

また、今回のツアーを側面からサポートしていただいたビクター・岩本さんや、時に親切なガイドとして、時に名カメラマンとして活動していただいたS・福留（日本庭園管理者）さんなど、多くの方々に深く感謝申し上げたいと思います。



ホストファミリーと楽しいひととき



美しい日本庭園にて

Report of the Visit

私たちは、このツアーをこれで終わりにせず、新しい交流のスタートにしたいと考えています。

すでに、各ホストファミリーとの間で記念写真を添えた礼状やEメール、クリスマス・カードの交換などの交流が始まっています。

ジャン・エプスタイン市長からのニューイヤー・カードの一節に記されていた

You were the perfect "good will ambassadors"

（皆さんは、実にすばらしい親善大使でした。）

このことばを大事にして、今後サンマテオ市からのホストファミリーを含めた熟年市民が豊中に来られた時には、豊中・サンマテオ姉妹都市協会などとの連携をはかりながら温かく迎えて相互理解と親善交流を深めたいと念願しています。

この1年間のできごと

■ 豊中市少年野球チーム 今夏サンマテオを親善訪問

昨年末のサンマテオ姉妹都市協会からの招待により、今年の8月13日から23日まで、豊中市少年野球連盟の少年野球チームがサンマテオ市を訪問して、親善交流試合やサンマテオ市長を表敬訪問することが決まりました。少年野球チームのサンマテオ親善訪問は今回で6回目、両市民の親善交流の進展と友好促進に大いに貢献されています。



■ サンマテオ市の新市長 ジョン・リーさんに

2000年12月4日の定例会議において、サンマテオ市議会の新人事が発表されました。新しい市長にジョン・リー氏が選出されました。市長以外の新人事は以下の通りです。

- 副市長 スー・レンパート ● 議員 キャロル・グルーム
- 議員 ジャン・エプスタイン ● 議員 クレアー・マック

■ 大盛況 とよなか国際ネットワークまつり

昨年10月28日と29日の2日間にわたり、とよなか国際交流センターで、「とよなか国際ネットワークまつり」が開催されました。この祭りは地域で国際交流活動に取り組んでいるグループが毎年行っているもので、当協会もネットワークの一員として、サンマテオ市を写真パネルで紹介しました。



■ サンマテオ天文学協会 豊中天文協会に交流申し入れ

昨年8月、親善使節としてサンマテオ市を訪問された星野さん、塚田さんが、訪問先のサンマテオ天文学協会の会長から、豊中市と天文学を通じた交流をしたいとの親書を託されて、豊中プラネタリウム館を通じて、豊中天文協会へ渡されました。今後、市民どうしの交流関係の発展につながると思いますね。



■ 韓国大邱青少年リコーダー合奏団 親善交流

昨年8月4日から8日まで、韓国大邱市から、青少年リコーダー合奏団が豊中市を訪問、5日にアクア文化ホールで、豊中市少年少女合奏団と合同でコンサートを開催し、大好評を収めることができました。韓国の皆さんはホームステイをしたり、観光を楽しんだり、短い交歓ながらも、大いに楽しんで帰国されました。今回、豊中市での公演は7回目となり、リコーダーを通じた両市民の交流もますます深まっています。